

取扱説明書（保証書付）

BC-12-S

このたびはバイク用バッテリー専用充電器「BC-12-S」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、安全に、正しくご使用ください。
お読みになった後もお手元に置き、ご活用ください。
なお、本書には保証書が印刷されておりますので記載内容をよくお確かめください。

■はじめに

「BC-12-S」はバイク用12Vバッテリー専用の充電器です。
充電を開始すると充電完了まで自動充電を行います。
また、過放電バッテリーの回復を促進する「回復充電機能」を装備しています。

■ご使用上の注意（ご使用にあたり必ずお読みください。）

この取扱説明書および本体への表示では、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■本文中に具体的な「注意・危険事項」「禁止事項」「遵守事項」が書かれています。

絵表示	説 明	絵表示	説 明
	特定しない一般的な注意または危険の通告を表す絵表示です。		「水ぬれ、水かけ禁止」の絵表示です。
	特定しない一般的な禁止の通告を表す絵表示です。		「保護具着用」の絵表示です。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示する内容を通告する絵表示です。		「子供禁止」の絵表示です。
	「感電注意」の絵表示です。		「分解禁止」の絵表示です。
	「スパーク注意」の絵表示です。		「電源プラグをコンセントから抜いてください」の絵表示です。
	「火気禁止」の絵表示です。		

ご使用の際は必ずお守りください。

使用環境／使用条件	⚠ 危険	
		■本器は、バイク用鉛バッテリー（12V・公称容量 2～20Ah [10時間率]）専用の充電器です。これ以外のバッテリーを充電したり、充電以外の用途に使用しないでください。 ・充電器が発煙、発火したり、バッテリーの液もれ、発熱、爆発の原因となります。
		■タバコなどの火の気のない場所、風通しのよい場所でご使用ください。 また、使用中はカーテンなどで充電器の通風孔をふさがないでください。 ・バッテリーが発火、爆発したり、充電器が過熱、発煙する原因となります。
		■ガソリン、オイルなど可燃物の周辺や法令で第一種・第二種危険場所に指定されている場所では使用しないでください。 ・火災や引火爆発する原因となる恐れがあります。
	⚠ 注意	
使用前の注意		■周囲温度 0℃～40℃の範囲でご使用ください。特に直射日光下や発熱体の近くなど高温の場所では使用および保管しないでください。 ・充電器の過熱、焼損、バッテリーの液もれ、発熱、変形の原因となる恐れがあります。
		■湿度の極端に高い場所、雨、雪などの水分のかかる場所では使用および保管しないでください。 ・漏電、感電、充電器破損の原因となる恐れがあります。
		■振動、ほこり、塩害、化学性ガス害の受けやすい場所で使用および保管しないでください。 ・漏電、感電、充電器故障の原因となります。
		■やむを得ずバッテリーを車両に搭載したままで充電を行う場合には必ず車両側バッテリー ⊖(マイナス) 端子のケーブルをはずしてください。 ・充電器が過熱、発熱、発火したり、バッテリーの引火爆発および車両機器損傷の原因となる恐れがあります。
	⚠ 危険	
使用環境／使用条件		■本器の交流入力電圧はAC100Vです。指定以外の電源電圧およびコンセントでは使用しないでください。 ・万一使用されますと、充電器の発熱、発火、または感電、けがの原因となる恐れがあります。
	⚠ 注意	
		■電源コード、充電コードを無理に曲げたり、コードの上に物を載せたりしないでください。また、コードのひび割れ、芯線の切れかけがないか確認してください。 ・そのまま使用すると、感電、発熱、発火の原因となる恐れがあります。
	⚠ 危険	
		■バッテリーを取り扱う時は、必ず保護メガネとゴム手袋を着用してください。 ・バッテリーに入っている希硫酸により失明や火傷の原因となります。 バッテリーの電解液が目に入った場合は、直ちに多量の清水で洗浄した後、速やかに医師（眼科医）の治療を受けてください。
使用前の注意		■バッテリーの液口栓を取り外す時は、特に周囲に火気がないことを確認してください。 バッテリーふたの上が電解液で濡れた場合は乾いた雑巾ではなく、濡れた雑巾で拭き取ってください。 ・乾いた雑巾で拭き取ると摩擦で生じた静電気により爆発の恐れがあります。
	⚠ 注意	
		■充電する前に充電するバッテリーの電解液量を点検し、液面線間の中間以下に低下している場合は、最高液面線（UPPER LEVEL）まで精製水を補充してください。（密閉型鉛バッテリーは除く） ・液量不足の場合、バッテリーの発熱、爆発の原因となる恐れがあります。また、入れすぎると液もれ、漏電、感電、火災の原因となります。
		■梱包用ビニールカバーは必ず取りはずしてご使用ください。 ・充電器が過熱し、火災の原因となります。

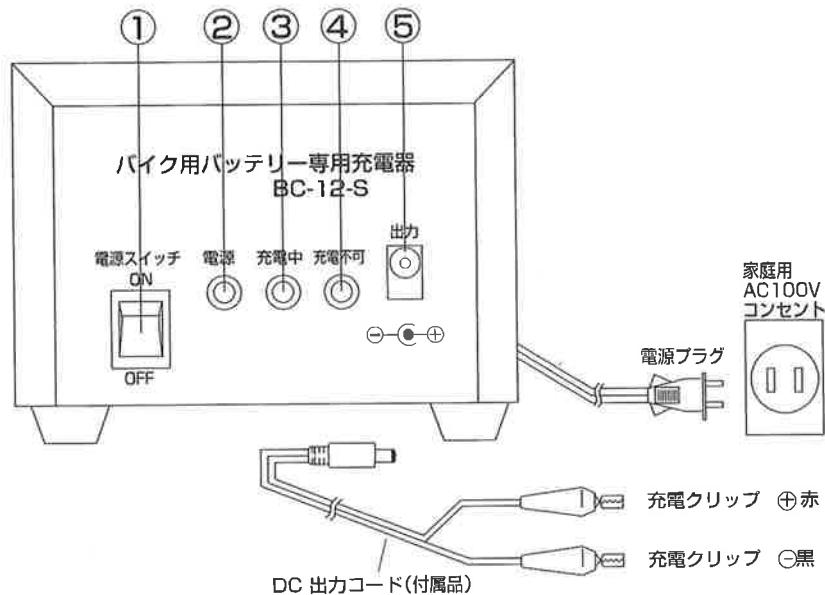
ご使用の際は必ずお守りください。

使用 方法 の 注 意	⚠ 危険	
		■子供、乳幼児には手を触れさせないように注意してください。 ・誤ってけがや感電したり、充電器が過熱、発煙したり、バッテリーが爆発する原因となります。
		■充電中に充電クリップの取りはずしは絶対にしないでください。 ・スパークによるバッテリー爆発の原因となります。
		■充電クリップをバッテリーに接続する時は、必ず電源を切ってください。また、充電を停止する時は、電源を切ってから充電クリップを取りはずしてください。 充電を開始する時の手順：電源OFF確認→充電クリップ接続→電源コンセント接続→電源スイッチON 充電を停止する時の手順：電源スイッチOFF→電源コンセントはずす→充電クリップはずす ・操作手順を間違えるとバッテリー爆発の原因となります。
	⚠ 注意	
		■充電クリップの接続は必ず次の手順で極性に注意して行ってください。 1. 充電器側プラス：赤色クリップ→バッテリー ⊕（プラス）端子 2. 充電器側マイナス：黒色クリップ→バッテリー ⊖（マイナス）端子 に容易にはずれないよう確実に接続してください。 ・確実に接続していなかったり、極性を間違えて接続した場合には充電器が過熱、発煙、発火したり、バッテリーの過熱、爆発の原因となります。
		■配線器具や延長コードを使用する場合は十分な電気容量を持ったものを使用してください。 ・配線器具やコードが発煙、発火する原因となる恐れがあります。
		■充電器の通風孔や出力端子にドライバーなどの工具を差し込んだり、金属物を入れたりしないでください。 ・感電、発煙、発火の原因となる恐れがあります。
		■電源コードはコードを引っ張らず必ずプラグ部分を持って抜いてください。また、使用しない時は電源プラグをコンセントから抜いて保管してください。 ・電源コードが破損し、感電、発煙、発火の原因となる恐れがあります。
		■充電器を分解したり、改造したりしないでください。 ・発煙、発火や感電の原因となる恐れがあります。
異常 時 の 処 置	⚠ 注意	
		■使用中に次のような異常を感じた時は直ちに使用を止めて、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ○所定の時間が経過しても充電が終了しない時。 ○充電器やバッテリーに異常発熱などを感じた時。 ・発熱して火災を起こす恐れがあります。
		■ヒューズ切れが発生したら、原因を取り除いてから同一定格のヒューズと交換してください。 ・定格以上のヒューズを使用すると、充電器の発熱、発火の原因となる恐れがあります。 また、交換は販売店にご相談ください。
		■異常や不具合が生じた場合の点検、調整、修理は指定のサービスセンターかご購入店にご相談ください。 ・そのまま使用したり、お客様による調整、修理を行うと発煙、発火やバッテリー爆発の原因となる恐れがあります。

■定格と仕様

型 式	BC-12-S	
電気用品型式認定	91-52027	
交 流 入 力	AC100V±10% 50/60Hz 29.6VA	
直 流 出 力	モードⅠ：20V 0.3A モードⅡ：14.8V 1.2A	
適合バッテリー	DC 12 Vバイク用密閉・開放型鉛バッテリー 2～20 Ah（10時間率）	
使 用 環 境	温度	湿度
	0～40℃	30～85%（結露のないこと）
コ ー ド	入力側 1.5m 出力側 0.9m	
外 形 寸 法	高さ80×幅146×奥行185（mm）（ただし、ゴム脚は除く）	
塗 装 色	ブラック	
重 量	約1.4kg	
付 属 品	取扱説明書 1部、DC出力コード（充電クリップ付）1本	

■各部の名称とはたらき



名 称	は た ら き
① 電源スイッチ	電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み、電源スイッチをONにすると充電器が通電状態になります。
② 電源表示灯（緑）	充電器が通電中であることを知らせます。 また、充電完了状態の時は電源表示灯のみが点灯しています。
③ 充電中表示灯（緑）	充電器が充電中であることを知らせます。 充電が完了すると消灯します。
④ 充電不可表示灯（赤）	この表示灯が点灯した場合は、次の症状を知らせます。 (1) 充電中に充電クリップが外れた時に点灯して異常を知らせます。 (2) バッテリーの放電程度が強く、容量回復が困難なバッテリーであることを知らせます。新品交換をおすすめします。
⑤ DC出力端子	付属のDC出力コードのプラグを差し込む端子です。

■使用方法

①バッテリーの準備をします。

1. バッテリーを車体から取り外してください。

やむを得ず車両に搭載したままで充電を行う場合には、必ず車両側バッテリーの⊖（マイナス）端子のケーブルを外してください。

2. バッテリーの液口栓は必ず全部（6個とも）取り外して、バッテリーふたの上に載せておいてください。

ただし、液栓が取り外せないものを除きます。密閉型バッテリーの密封栓は絶対に取り外さないでください。電解液が液面線間の中間以下に低下している場合は、最高液面線（UPPER LEVEL）まで精製水を補充してください。

②DC出力コードを接続します。

付属のDC出力コードを充電器の出力端子にしっかり差し込みます。

③充電クリップの接続をします。

1. 充電器の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

2. 充電クリップの極性に注意して次の順序でバッテリーに確実に接続してください。

- 1) 赤色クリップ→バッテリー⊕（プラス）端子へ
- 2) 黒色クリップ→バッテリー⊖（マイナス）端子へ

④充電開始～充電完了

1. 電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

2. 電源プラグをコンセント（AC100V）にしっかり差し込みます。

3. 電源スイッチをONにします。

「電源」表示灯（緑）および「充電中」表示灯（緑）が点灯して、充電を開始します。

※「充電不可」表示灯（赤）が点灯した場合

充電クリップがバッテリー端子から外れていないか確認してください。

●外れている場合は、電源スイッチをOFFにしてから再度、充電クリップを接続してください。

充電器の故障ではありません。

●外れていない場合は、バッテリーの放電の程度が強く充電を継続しても容量の回復が出来ません。

新品バッテリーと交換してください。

そのまま充電を継続するとICタイマーにより3時間後に「充電不可」表示灯が消灯しますが、充電は完了していません。

4. 充電が進み、バッテリーがほぼ充電状態（80～90％充電状態）になると「充電中」表示灯が消灯します。

[充電時間のめやす]

100％放電状態から約80％充電状態までのめやす（新品 25℃）

代表的なバッテリー型式と バッテリー容量（10時間率）	充電時間（時間）
GT4B-5 2.5Ah	4
GT4L-BS 3.2Ah	4.5～5
GTX5L-BS 4Ah	5
GTX7A-BS 6Ah	6.5
GT7B-4 6.5Ah	6.5～7
GTX9-BS 8Ah	7.5～8
GTX12-BS 10Ah GT12B-4	9
GT14B-4 12Ah	10.5

※充電完了後は速やかに充電作業を止めてください。

やむを得ず充電を継続する場合は、2日以内としてください。

過充電によるバッテリー爆発や充電器過熱などの思わぬトラブルの原因となります。

⑤充電後のあとかたづけをします。

1. 充電器の電源スイッチをOFFにしてください。
「電源」表示灯が消灯します。
2. 電源プラグをコンセントより抜きます。(必ずプラグを持って抜いてください。)
3. 充電クリップを⊖(マイナス) 端子 (黒色クリップ) → ⊕(プラス) 端子 (赤色クリップ) の順序でバッテリーから取り外してください。
4. 液口栓を取り外したバッテリーは元通り液口栓をしっかり締めてください。
5. バッテリーを極性に十分注意して車体に取り付けてください。

■故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。

こんな時は	これが原因です。	次のことを点検してください。
電源表示灯が点灯しない。	・電源がきていない。 ・電源プラグが外れている。	電源を確かめプラグをしっかり差し込みます。
充電時間を過ぎても充電中 表示灯が消灯しない。	・過放電バッテリーです。 ・不具合バッテリーです。	充電時間のめやすは100%放電の場合です。 24時間充電しても充電表示灯が消灯しない場合はバッテリー不良です。
充電開始直後に充電不可表示 灯が点灯する。	・充電クリップがバッテリー 端子から外れています。	充電クリップをしっかり接続します。
	・不具合バッテリーです。	充電を継続しても容量回復ができません。 新品バッテリー交換をおすすめします。
充電器から異音、異臭がする。		ただちに電源プラグをコンセントから抜き、 ご購入店にご相談ください。
その他の異常		ご購入店にご相談ください。

- 修理をご依頼される場合は、お買い上げ店もしくは下記サービスセンターへご依頼ください。

ご依頼される場合は、お客様の住所・氏名およびお買い上げ店の住所・店名が記載されている保証書（保証期間内のもの）を添付ください。また、お預りする製品の故障状況も合わせてお知らせください。

ジーエス日真サービスセンター

〒533-0011 大阪市東淀川区大桐1丁目8番9号

TEL (06) 379-2487

FAX (06) 323-9911

- 製品に関するご質問、その他の質問は、裏表紙に記載の「弊社 電池販売事業本部 市販部」へお問い合わせください。